

第2回 港中学校、築港中学校、適正配置検討会議

1 日時

令和6年10月2日（水） 19時00分から19時53分

2 場所

港中学校 多目的室

3 出席者

（委員）

高木委員、畑委員、堀川委員、森岡委員、黒川委員、柚友委員、福原委員、村上委員、芝寄委員、宮本委員、村田委員、有田委員、齊藤委員、阪上委員、新田委員

（学校）

北川港中学校長、西村築港中学校長

（教育委員会事務局）

山口港区担当教育次長、磯村港区教育担当部長、港区教育担当課長、港区教育担当課長代理、学校適正配置担当課長、教育政策課指導主事

4 議題

（1）校名案の検討について

- ・第1回専門部会の実施報告
- ・校名案アンケート【提案】

（2）通学の負担軽減策の検討について

- ・専門部会メンバーへの意向確認結果

（3）今後の予定等

5 会議資料

- ・次第
- ・資料1 第1回専門部会（校名・校章・校歌・標準服等）議事要旨
- ・資料2 「校名」について、専門部会メンバーの意向確認結果
- ・資料3 校名アンケートの実施について（案）
- ・資料4 校名アンケート回答用紙（児童生徒用）（案）
- ・資料5 校名アンケート実施チラシ・回答用紙（一般用）（案）
- ・資料6 「通学の負担軽減策」について、専門部会メンバーへの意向確認結果
- ・資料7 築港中学校・港中学校 統合について

(築港中学校PTA及び築港地域よりご提出の資料)

- ・机上配付 新しい小学校の校名案を募集します(生野区小学校校名募集のご案内)

6 議事要旨

(1) 事務局からの説明

【(1) 校名案の検討について】

- ・事務局から、第1回専門部会の実施報告、校名アンケート【提案】について説明を行った。

【(2) 通学の負担軽減策の検討について】

- ・事務局から、専門部会メンバーへの意向確認結果について説明を行った。

(2) 校名案の検討についての質問等の概要

【(1) 校名案の検討について】

(委員)

ちょっと違う質問になってしまって申し訳ないんですが、学校名を変えるためにお金を使うよりも子どもたちが充実した学校を送れるようにお金をかけてほしいとかいろいろ書かれてるんですが、現実この校名を変えるために使うお金と学校運営のお金って一緒なんですか。

(教育担当課長)

通常の学校運営のお金は通常の学校運営でございます。それとまた別に学校名を変える。例えばですけれども、学校のプレートですよね、学校の校名のプレートでございますとか、それから例えば体育館のところにあります、上のところにある校章が入っているものでございますとか、そうしたものを新たに変わる、ということが一つでございます。それから、例えば、校章が入っておるような体操服でありますとか、制服もそうですね、そうしたものがございましたらそうしたものを、新たに貸与する、といったようなところも、別の経費といったものでございます。通常の学校運営の経費とはまた別のものになります。

(委員)

別ですか。すみません。それが知りたかったんです。

(委員)

もう1個あるんですが、ざっくりは書いていただいているんですけども、校名アンケートで資料5ですね、先ほど、趣旨の方のご説明があったときに、どちらかに吸収合併されるとか、そういったことではなくて、あくまで新しい学校だっていうところでのア

ンケートであるっていうのを、なんかもうちょっとアピールしないと。どういったらいんですかね。イメージ的に僕の、港中に吸収されてしまうのね、とってしまうのですよ、どうしても。でも、それじゃあダメよね、と思うところがあって、アンケートを受け取る側に、もうちょっと、趣旨説明みたいなものが記載できないものか、と思うんです。じゃないと、主観的なものだけになるので、こちら側の思いなりというのもご理解いただきながら書いて、児童だったりとか、まあ児童になると1年生から6年生になるので、なかなか難しいとは思うんですけど、そういったことって、した方がいいと思うんですけど、ある意味、意見なんですけど。そういうのをお願いしたいと思います。

(教育担当課長)

資料5の方ではですね、表面のところ、資料5というふうにある、そのちょっと上のところで、3行ほどのところがございます。ここにですね、まさに「令和9年4月に、港中学校と築港中学校は統合し、現在の港中学校の校地を使用して、新たな学校を開校する予定。」ここですよ。ね。「新たな学校を開校する予定」のところに、一つの大きな意味が込められた、ということがございます。「現在の港中学校の校地を使用する」ということがございますので、場所はこの「港中学校を使用いたします。」ただ、吸収するとか、ということをお願いしてるとか、まったく、そういう意味ではございません。

(委員)

具体的にいうたらこの部分、もうちょっと大きくならないのかしら、みたいなことなんです。こっち側の趣旨っていうのが理解してほしいなっていうのが主なわけで。具体的に言うと、これをもうちょっと大きくできませんか、っていう話です。

(教育担当課長)

承知いたしました。その裏面のところでですね、私の方が先ほど、補足説明のところでお話しさせていただきましたところになるんですけども、問1のところ、1、2、3と回答のところがございます。ここで、2、でですね、「現行の校名『港中学校』を使用したほうがよいと思う。」。また、3、で「現行の校名『築港中学校』を使用したほうがよいと思う。」ということで。こうしたほうが分かりやすいのかなあ、という思いで我々書かせていただいているんですけども、ここの「現行の校名」というところが、現行の学校が存続するという、そうした意味はないんですけども、もし、そうした意味でイメージをされておられる方もいらっしゃるかもしれないのかなあ、とちょっと先ほどお詫び申し上げたところではあるんですけども、ここのところもこうしたほうが、とご意見がございましたら、ご意見いただければと思っております。よろしく申し上げます。

(委員)

アンケート、結構なんですけれどね、ただ、地域の人で学校の名前について、考える人いません。アンケートしても私、適当にどれかに丸つけはると思います。よう考えて丸つけてくれたらいいのですが、そんな人ほとんどいてないと思いますよ。で、今いわれた、何故合併するのか、あるいは合併して何を目指すのか、それがなかったらね、名前も付けられないのと違うかなと思うんですよ。子ども生まれるときにこの子はこんな風に育ってほしいとかで名前つけますよね。私まあ出来るか出来へんかわからんのですが、もし可能であればですね、ちょっと手間がかかりますけども、港中学校と築港中学校のPTAのみなさんとそれぞれの先生方に集まっていただいて、一緒になった時にどんな学校にしていきたいか、そんな細かいのまで決められないけどね、例えば、キャッチフレーズみたいなもんですな、「英語を頑張ります」とかね、「地域の歴史をよく学びます」とか、あるいはどういう教育、新しい学校でどういうことしていきたいか、ということがあればね、自然と名前なんて決まってくるんじゃないかなというような気がするんですが、何もしないで、名前ちょっと考えてと言われても困るんです。そして、もう一つは、なんかあの、港区に港区の歴史にめちゃくちゃ詳しいとか、国語の、歴史とか、大昔のなんか、日本書紀とか古事記とか万葉集に詳しいとか、そんな人に平成や令和やないですけどね。それくらいのこと考えるような人がいてはったら、例としてね、こんな名前どうですかみたいなね。それで決めるとかじゃないですよ。なんかないとね、ずんべらぼうで考えてください、どれ賛成ですか、みたいな。かなり無責任だと思います。そんなもんね、学校の、新しい学校を作るってこと誰も考えてないんですわ。地域の人、少なくとも築港地域は。と思いますので、なんかそこらへんのこと、手間かかるけどね、なんかその理念みたいなもの、できませんかな校長先生。なんかその、そうじゃなくて大阪市の中学校やからどこの学校も一緒やねん、特徴も何もないねん、ただ、学校ですわ、いうんやったら目指すところは何もないんですけどね。そこまではいかへんのちゃうかな。やっぱりなんかちょっとね、地域に根差したなんか理念みたいな、こう、いるのと違うかなあというようなことを思います。

(山口港区教育担当次長)

ご意見ありがとうございます。「学校をどんな学校にしたい」みたいな意見交換は確かに大事だなあと思います。そうですね、だからどんな形で、そういう話ができればいいか。まあよくやるのは、それぞれの学校の教育目標っていうのをそれぞれお持ちですので、築港中はこういう風にやってきた、港中学校はこういう風にやってきた、こんな歴史があります、っていう例示と一緒に資料でしたりとかするっていうのは、校名を考えるときのヒントとして出てきた、やってきたところなんですけれども。「新しい学校をこうする、こうしたい」っていうビジョンみたいなところですね、それを掲げてからの校名を皆さんで考えましょう、っていうのができるかな、スケジュール的にはどうで

すか。でもアイディアのひとつとして、一回できるかどうかも含めて考えていきたいなと。あと、そのすごい有名な方がいらっしゃるかですが、100周年が来年度ありますので、いろいろ歴史を私も勉強をしておしてるんですが、図書館とかにかなり資料がありまして、そういったところの、やはりあの、元々海だったところにできたまちって、そして港ですので、そういった経過がある歴史は踏まえてというところですね。

(委員)

区役所でなんか今まで、歴史の詳しい人やなんか催し物あったらね、歴史の詳しい人呼んできて講演、なんか有名な人なんですよ。大学の先生ではなかったと思うんですけども。なんかいてたやないですか。

(山口港区教育担当次長)

ちょうど100周年もあるんで私も聞いてみたいのでちょっと探してみます。ありがとうございます。

(委員)

学校名の話ですけど、一度個人的に区役所で聞いてもらいましたが、このアンケート用紙4と5の、5の裏の方ですけど新しい学校名は大阪市立なんたら中学校になると書いてあるんですけども、なんたら中学校にこだわる必要があるかなんですけど。なんたら学園とかね、あるいは完全に新しいイメージにするんやったらイメージも作ったもんプラス中学校なんか隠してもうて、大阪市立の。やった時に、新しさがものすごく出てくる。それ大丈夫か中学校ならんか、全体的にみな校名作っていくいうんは非常に縛られると把握したもんで。

(山口港区教育担当次長)

参考までに小中一貫教育では大池小学校っていうのが生野区にできて、それが中川っていう小学校と御幸森、舍利寺を一つにしてできました。でそれで大池中学校っていうのとは距離が離れているんですけども、一応小中一貫校の扱いにしている、大池学園、大池中学校と小学校というやり方になっていてその上に学園が確かっていたと思うんで記憶が、私しか(知らない)。通称そうですね、そういう通称みたいなものをつけるので、学園とかってついてるのは実際ついてるところはあります。あとは中学校そのものを変えられるかどうかは。

(学校適正配置担当課長)

そのご提案については持ち帰り、いろいろ条例規則が決まってるので、照らし合わせて持ち帰り検討します。調べてみますのでお時間ください。

(委員)

今お話聞いてたら中で新しい校名をつけたっていう感じがよく出てると思います。あの、アンケートの中に1、2、3、4ってある。港中学校、築港中学校、って案がある。そこに丸をするより、「地域で新しい校名を考える」に丸するのがほとんどじゃないかと思います。これもあっていいのかなっていう。

(山口港区教育担当次長)

そうですね、今、まったくのどっちかの学校名といって、さらで取りあえず「新しい学校名を出してください」って応募したとき、何度かやってるんですけども。元の学校の名前、必ず入ってきます。そのうえで新しい学校名もいっぱい出てくるので。また子どもに考えてもらったらえらいことになってしまったので。いろいろふざけた内容もきちゃって。でも、何もない状態で一旦聞いて、そこに元の学校が入ってるということはよくある、ということではあるので、そういった形で迷惑はしてませんし。先ほど、いろいろビジョンもさっきお受けしたのと、中学校確認っていうのと、いろいろ宿題を今貰ったと思ってますが、ご意見としてこのアンケートそのまま使うというより、こうしたらというご意見をいただいたほか、是非ともご意見ある方、あれば、お願いします。今全部聞いて持って帰って、再構築してお示ししたいなと思ってますので。

(委員)

結果がですね、専門のメンバーでやられたように結果がですね、前回専門部会でやられたときの結果がですね、港中が8名。新しい校名が3名。わからないが1名。こういう風になると思いますわ。このアンケート。結果が出てるもん。

(委員)

今日はあの、生野区でね、校名募集されたときは事前にね、こんな名前もありますけどどうですか、とかそんなんはなかったですか。

(山口港区教育担当次長)

たしか桃谷中学校に再編したときは、候補を先に職員とかみんな考えて、そこからだと思います。検討会議に候補を出して、投票してもらいたいなそんな感じではあったと思います。職員がいっぱい考えた記憶がちょっとだいぶ遠い前ですけど。その時初めての再編だったので、いろんなやり方がいろんな区でされてるのでちょっと聞いてみますが、確かに提示していた件もあります。ちなみに浪速小、浪速区の3小のところは区長が決めた。浪速と書いてなみはやと読むちょっと違和感は、当時校長やってたのはある。近くの学校やと思うんですけど、そういうケースもあるんですが、基本的に

は皆様のご意見としてはね、いや、「港中学校でいいんじゃないか」いやいや「新しくした方がいいんじゃないか」っていう、みんなに聞いた方がいいんじゃないかっていうのは部会で、専門部会で話し合って、一旦アンケートを取る、そしてそのアンケートの形を、その形を決める手順をね、今、意見いただいた。

(司会)

今ご質問いただいたところで、元々違う区のチラシでしたので、今お配りを最初にはしてなかったんですけども、一応生野区で最近、校名募集したチラシの方に、こちらの方お付けして、チラシの方、参考にお配りさせていただきました。最近のことございまして、ちょうど8月27日から9月17日ということで。うちの港中学校、築港中学校より1年早い、令和8年4月に統合を予定してまして、ちょっと今、ギリギリのタイミングで、この期間短いですが20日くらいの間でアンケートといえますか、もう「校名募集します」ということで、新しい校名を募集している事例でございます。私どもは、もう1年先ですのでちょっとゆっくりとした感じでアンケートという形から入りましたが、あちらの方はギリギリのタイミングなんで、こういう案で実施されておられます。参考に今お配りさせていただきました。

こういった事例も参考にしながら、また再構築をしようと思うのですが、加えてまた別のご意見がございましたら、こちらの方でお受けしといて、また次のチラシに反映したいと思うのですが、今ご発言いただけなかったとしましても何か思いついたことなどありましたら、メール等でもやり取りさせていただきますので、追加でご意見いただいて、それで次の検討会議になりますか、その前に書面で皆様にお知らせして、またご意見いただいてのほうが、会議がスムーズかなと思いますし。この場ではちょっと思いつかなかったこととかもございましたら、追加でご意見いただけるように進めたいと思います。よろしいでしょうか。なにか、ここでご発言とか、また、進めさせていただいて途中でもう一回最後にもう一回ご意見集約、ご意見お伺いしますので。

【(2) 通学の負担軽減策の検討について】

(委員)

意見というよりは、築港の年寄り連中に聞きますとね、昔は市岡中学、その次港中学校になったんですけどね、ここにくるときでもね、歩いて行けることもあるだろうけども、路面電車乗ったりとかね、バス乗ったりとか、人数はどの程度の割合か知らんですけどね、そこそこそういう人がいたようなんですが、そして、帰りは歩く、時間あるときは歩いてたって。どの程度生徒がいたのかかわからんですけどね。

(委員)

すみません、前は橋やなくてフラットやったみたいなんですよ。今すごい、築港中か

ら向こうは橋ですけど、昔はフラットだったから歩いて行けたし、楽だったとは聞いております。

(委員)

私もね、以前築港に住んでましたのでね。築港小学校から港中にだったんですね。そこはね、みなさん、やっぱりみな、ブロックごとに誘い合わせてね、何人かで行ってましたんですよ。それで千舟橋も今みたいに下に高速みたいなのがなかったのね、高速がなかったの千舟橋もあんなに高くなかったんです。だから結構ね、自転車なんかの通学はそこなかったですわ。みなさん歩いてね、築港小学校から歩いて、皆さん集団登校みたいな感じでね、結構。でも私今心配してますのはね、静波橋ありますでしょ。あそこは大型車が多く走っているので、あそこだけがやっぱり千舟橋を通らずにね静波橋を通ると思うんですよ。だからね、あそこもね、ちょっと交通量がね、大型のね、コンテナいうんですか、載ってた車が通るんですよ。

(委員)

阪神高速の抜け道になっている。

(委員)

あそこ通つてるとね、すごく揺れるですよ。コンテナ車、大型車が通るのでね。だからそれだけが心配やなあと、思います。昔は本当に皆さん、楽しく築港から港中学まで通ってましたんですが、今はちょっとそういう交通事情がね、違いますのでね。はい、以上です。